学校番号	416

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことをより発展させるために、新たな古典にふれ、古典の持つ表情や表現の違いを学びます。
・様々な書に親しむ活動を通して自分らしい表現を目指します。
・作品を鑑賞することで、感性を高め鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え､書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	･書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 ・書の伝統に基づく効果的表現の技能を身に付けている。 ・書の特質とその歴史について理解を深めている。 ・文字と書の伝統と文化について理解を深めている。	・目的や用途、表現形式に応じた構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・作品と価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。	・主体的に書の創造的な表現および鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・楷書、行書、草書、隷書 及び篆書の古典の臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素について理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆・字形、全体の構成を工夫しながら、自己表現する。	a:漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 a:各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:各書体の古典に基づく効果的な技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:各書体の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	観察 振り返りプリント

1学期	仮名の書	・古典の臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 a:仮名の書の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者等の関わりについて理解を深めている。 a:仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 a:墨つぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 b:生活や社会における仮名の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	観察 振り返り プリント

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	篆刻	・篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。 a:線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に篆刻や刻字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	観察 振り返りント

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と、漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字と仮名の調和等による全体の構成を工夫しながら表現する。	a: 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 a:各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:目的や用途、意図に応じた効果的な技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:漢字仮名交じりの書作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	観察 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度